

# 新美南吉記念館だより

NIIMI NANKICHI MEMORIAL MUSEUM NEWS

発行 新美南吉記念館 〒 475-0966 愛知県半田市岩滑西町 1-10-1 TEL0569(26)4888 <http://www.nankichi.gr.jp>



**七** 月二十八日(土)から三十日(月)にかけて、今年も「新美南吉生誕祭」を開催しました。半田市では南吉の誕生日である七月三十日を「南吉さんの日」と名付けて、式典や行事を行っています。今年は台風の影響により、初日の「正八ちゃんの家祭り」などの一部のイベントが中止になってしまいました。二十九日(日)には台風が通り過ぎ、「あつまろうみんなの南吉まつり」を開催できました。翌三十日は「南吉さんの日」式典です。記念館の工

## HAPPY BIRTHDAY 南吉さんの日 新美南吉生誕祭開催

- ①半田中学校合唱部が「明日」などを披露
- ②半田高校放送部が「詩人」などを朗読
- ③南吉の誕生日を祝い、献花をする方々



ントランスで、今回一〇五回目の誕生日を迎える南吉をお祝いしました。今年も南吉の母校である半田高校が、創立百年を迎えます。そこで、式典では南吉の詩「詩人」と中学時代の日記を、半田高校放送部の生徒に朗読してもらいました。読み上げてくれたのは、「詩人」が二年生の佐野裕城さん、日記が一年生の杵島望さんです。その後、会場には「木の祭」をテーマにした特製バースデーケーキが登場しました(左写真)。

このケーキは半田市の商業施設LACITYYの手にやるもので、会場を華やかに彩りました。他にも半田中学校合唱部が南吉の童謡「明日」「枇杷の花」を披露し、伸びやかな歌声を響かせるなど、式典は終始、明るく和やかなムードに包まれていました。

# 『赤い鳥』創刊100年記念 童謡コンサート



特別展「『赤い鳥』がくれたもの  
〜新美南吉・夢と出会い〜」  
―感想ノートから―

八月四日（土）、『赤い鳥』創刊100年を記念して、雁宿ホールの講堂で「童謡コンサート」を行いました。

今回のコンサートには、高居洋子さん（東京二期会所属）、倉石真さん（日本声楽アカデミー会員）、伊坪淑子さん（二期会イタリアオペラ研究会所属）、そして半田少年少女合唱団の皆さんが出演してくださいました。高居さんは地元岩滑の出身で、南吉の詩を音楽で広める活動に取り組みられています。

コンサートプログラムは全二十二曲からなり、今日の子どもの歌のルーツとなった、大正から昭和初期

にかけての童謡を中心に組みました。コンサートはまず、倉石さんの歌と伊坪さんのピアノによって始まりました。最初の曲目は、南吉の詩「合唱」です。この歌では、舞台裏から少年少女合唱団のコーラスが流れるという、詩に即した演出を試みまし

た。その後、合唱団の皆さんが舞台の前に登場し、「犬のおまわりさん」、「サッチャン」、「南吉の「枇杷の花」を、次々に歌い上げていきました。

それから、高居さんと倉石さんが残りの曲を交互に歌っていきました。曲目は「赤い鳥小鳥」や「かなりや」、「黄金虫」、「たきび」に「ことりの歌」などです。北原白秋や巽聖歌、與田準一といった、南吉と関わり

の深い人物たちの童謡や、南吉が聴いたことのあるものなどを選びました。コンサートでは、歌だけでなく

作品にまつわるエピソードも紹介しています。

時には、倉石さんが「黄金虫」を歌いながら、歌詞の通りに子どもたちへ飴を配るといったパフォーマンスもされ、客席から明るい笑いがこぼれる場面もありました。ちなみに今回のコンサートでは、真島圭さん



初めて披露されています。そうして、コンサートは最後の曲目である南吉の「明日」へ。かつて『赤い鳥』に掲載されたこの作品を、高居さんと倉石さんが共演して見事なハーモニーを響かせると、会場からは盛大な拍手が送られました。

七月から始まった特別展の会場には、一冊の感想ノートが置かれています。そこに書かれた来館者の声を、少しご紹介します。

○新美南吉さんの作品が三重吉さんによってこんなに直されているとは驚きでした。でも、より読みやすく変わっていることがわかりました。

○何気なく読んでいた「ごんぎつね」が、始まりから深い考察の上に成り立っていることに驚きました。ラストの場面の（草稿と『赤い鳥』との）変わり方は流石です。

○大阪で小学校教員をしています。『赤い鳥』の存在が南吉をとっても大きくさせたのだと感じ、勉強になりました。特に鈴木三重吉の綴方指導に深く感銘を受けました。将来を担う子どもたちに綴方（作文）の大切さを伝えていきます。

○新美南吉さんに限らず、誰かの人生をたどるのは何故かわくわくします。子どももだけれど、今の大学生の自分の気持ちも色あせないように言葉にしたいと思いました。

○スパルタノートを見て、南吉の言わんとするニュアンスがより理解が深まり、情緒的な奥深さのある言葉を読むことができたのでよかったです。

○尊敬する新美南吉さんの日常を知ることができただけでなく、周りの人間関係などを知ることができました。新美さんの美しい作品には、いつも勇氣や優しさをもらっています。

○話の内容があらためてわかりました。新美南吉さんの歴史も学べていい勉強になりました。『赤い鳥』という本自体も初めて知りましたが、今度読んでみたいですね。南吉さんすごい！

○新美南吉さんに限らず、誰かの人生をたどるのは何故かわくわくします。子どももだけれど、今の大学生の自分の気持ちも色あせないように言葉にしたいと思いました。

○大阪で小学校教員をしています。『赤い鳥』の存在が南吉をとっても大きくさせたのだと感じ、勉強になりました。特に鈴木三重吉の綴方指導に深く感銘を受けました。将来を担う子どもたちに綴方（作文）の大切さを伝えていきます。

○話の内容があらためてわかりました。新美南吉さんの歴史も学べていい勉強になりました。『赤い鳥』という本自体も初めて知りましたが、今度読んでみたいですね。南吉さんすごい！

○新美南吉さんに限らず、誰かの人生をたどるのは何故かわくわくします。子どももだけれど、今の大学生の自分の気持ちも色あせないように言葉にしたいと思いました。

○話の内容があらためてわかりました。新美南吉さんの歴史も学べていい勉強になりました。『赤い鳥』という本自体も初めて知りましたが、今度読んでみたいですね。南吉さんすごい！

# 記念館からのお知らせ

## AMI 南吉を歌う

「彼岸花を並べたら」

南吉の詩や童謡を、音楽

ユニットAMIが奏でます。

日時 9月22日(土)

11時～12時

場所 記念館図書室

出演 AMI

## かぜるんの紙芝居

北海道の紙芝居研究会

「かぜるん」が、南吉作品

の紙芝居を披露します。

日時 9月22日(土)

13時30分～14時30分

場所 記念館図書室

出演 かぜるん

## サヤ佳のおはなし会

南吉の作品を、投影や音

楽を交えて朗読します。

日時 9月23日(日)

14時～14時45分

場所 記念館図書室

出演 ストリートライアー  
語人サヤ佳、水城

ゆう(現代朗読家・音楽家)

## 「こんぎつね」の誕生日

10月4日は「こんぎつね」

が書かれた日です。記念館

受付で合言葉を言うと、記

念品が貰えます。合言葉は

「こん、お前だったのか」。

『赤い鳥』創刊100年記念特別展

『赤い鳥』がくれたもの

今年、南吉が「ごん狐」

や数々の童謡を発表した児

童雑誌、『赤い鳥』が創刊

されて100年です。鈴木

三重吉や北原白秋との関わ

り等から、同誌が南吉に与

えた影響をご紹介します。

会期 10月28日(日)まで

場所 記念館展示室

※高校生以上は観覧料

(210円)が必要です。

## 【特別展開連行事】

『赤い鳥』朗読会

特別展の開催を記念し

て、『赤い鳥』にちなんだ

朗読会を開催します。

日時 9月30日(日)

13時30分～14時30分

場所 記念館図書室

演目 「正坊とクロ」新美

南吉、「蜘蛛の糸」芥川龍

之介、「目ぐすり」森三郎

朗読 泉の会

解説 当館学芸員

## ミュージアムトーク

学芸員による特別展解説。

日時 9月16日(日)、29

日(土)、10月4日(木)、

21日(日) 13時30分～14時

※特別展会場に集合

以上の事業への問い合わせは

新美南吉記念館まで

TEL0569(26)4888

## 日誌抄

### 六月(水無月)

▼1日 第30回新美南吉童

話賞作品募集始まる(～9

月15日)▼10日 阿久比中

学校生徒250名が矢勝川

堤に彼岸花の球根を植付▼

14日 岩滑北保育園年長組

20名が矢勝川堤に彼岸花の

球根を植付▼22日、23日

「南吉さんの虫まつり」。於

記念館芝生広場・谷地。両

日で1850名来場▼同日

ナイトミュージアム。12

62名来場▼23日 岩滑地

区有志が矢勝川南の畑にマ

ツバボタンを植付▼同日

江戸玩具「ずぼんぼ」をつ

くって遊ぶ。21名参加▼

24日 第156回新美南吉

読書会。21名参加▼同日

中日新聞知多版で、岩滑小

学校にある資料室「南吉さ

んの部屋」が取り上げられ

る▼29日 岩滑小学校児童

及びボランティア120名

が矢勝川堤に彼岸花の球根

を植付▼30日 七夕飾りを

作る。64名参加。

七月(文月)

▼1日 童話創作講座第2

回。18名参加▼6日「新美

南吉 10冊の絵本展」終了。

期間中来館者数10383

名▼12日 半田特別支援学

校で出前授業▼14日 特別

展「赤い鳥」がくれたもの

の～新美南吉・夢と出会い

」始まる(～10月28日)

▼同日 ミュージアムト

ーク。6名参加▼同日 半田

市と安城市の交流企画「南

吉パスポート」始まる(～

7月30日)▼22日 第15

7回新美南吉読書会。13名

参加▼26日 夏休み「こん

ぎつね」教室。11名参加▼

28日 岩滑地区有志がマツ

バボタン畑で除草作業▼28

日～30日 新美南吉生誕祭

開催(記念館無料開放)▼

29日「あつまろうみんな

の南吉まつり」。282名

参加▼30日「南吉さんの

日」式典。130名参加。

(9月の休館日)

3日(月)、10日(月)、

11日(火)、18日(火)

(10月の休館日)

9日(火)、10日(水)、

15日(月)、22日(月)、

29日(月)

## 長期臨時休館のお知らせ



新美南吉記念館は平成6年の開館から24年が経ち、老朽化が著しくなった空調機器を全面更新します。これに合わせて、照明設備のLED化工事も行いますので、期間中は臨時休館とさせていただきます。お客様にはご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いたします。

期間..平成30年11月12日(月)～

12月21日(金)

# ごんの秋まつり

9月20日～10月4日

9月下旬から10月上旬にかけて、記念館近くを流れる矢勝川の堤は300万本の彼岸花で真っ赤に染まります。それに合わせて「ごんの秋まつり」を開催します。美しい彼岸花を始め、期間中に開催される様々なイベントをお楽しみください。彼岸花の開花情報は新美南吉顕彰会のHPでご覧いただけます。(http://nankichi.org/)

## あつまろうみんなの南吉展

南吉文学碑の拓本や南吉ゆかりの風景を描いた木版画を展示します。

期間 9月20日(木)～10月4日(木)

協力 半田市拓本研究會

半田版画同好會

場所 記念館會議室ほか  
◎体験コーナー



木版画体験／9月23日(日)

9時30分～17時

拓本体験／9月22日(土)、

23日10時～14時

※材料がなくなり次第終了

## ガイドと朗読付き

### 彼岸花ウォーク

南吉のふるさと岩滑をガイドと歩きます。「南吉童話お話の会でんでんむし」による南吉童話の朗読も聴けます。日にち 9月23日(日)

26日(水)

行程 名鉄半田口駅(10時

5分集合・出発) ↓南吉生家

↓岩滑八幡社↓離れの家跡↓

常福院↓光蓮寺↓岩滑小学校

↓矢勝川堤↓新美南吉記念館

(12時頃解散予定/約2km)

定員 各回15名(先着順)

参加費 無料

申込み 9月1日(土)、9

時30分前から電話または窓口へ

※半田口駅付近に駐車場はありません

以上の情報についての問合せ・申込みは南吉記念館まで。  
TEL 0569(26)4888

## 南吉童話の街頭紙芝居やさん

自転車に乗せた昔ながらの街頭紙芝居で南吉童話をお楽しみください。

日にち ごんの秋まつり期間中の土・日・祝日

時間 午前の部10時30分～

午後の部13時30分～

場所 記念館・矢勝川周辺

上演 南吉童話お話の会でんでんむし

## ごんの秋まつり

### フォトコンテスト

ごんの秋まつり期間中に撮影したあなたのとっておきの一枚を募集します。

※詳細は半田市観光協会のHP

P (https://www.handa-kankou.com/) まで。

## 彼岸花の結婚式と花嫁行列



岩滑八幡社で神前式を挙げた後、彼岸花が咲く矢勝川堤へ、皆に祝福されながら花嫁行列が行われます。

日にち 9月23日(祝・日)

時間 14時30分～

場所 岩滑八幡社・矢勝川

## 彼岸花のライトアップ

彼岸花のライトアップを行います。幻想的な風景をお楽しみください。

日にち 9月29日(土)

30日(日)

時間 18時30分～21時

場所 ごんの飛び石周辺

以上のイベントについての問合せは半田市観光協会まで。  
TEL 0569(32)3264

## ごんの秋まつり期間中の記念館へのアクセス

秋まつり期間中、土・日・

祝日は、新美南吉記念館の駐車場は障がい者専用となるため、使用できません(平日は可)。無料の周遊バスなどをご活用ください。※障がい者の方は手帳により確認します。

## 半田観光周遊バス(無料)

アイプラザ半田(臨時無料駐車場)を起点に、半田運河・蔵のまちバス停を経由して、南吉記念館と半田赤レンガ建物を結ぶ巡回バスです。

運行期間/ごんの秋まつり期間中の土・日・祝日

運行時間/アイプラザ半田(始発9時～終発16時)

(始発9時～終発16時)

新美南吉記念館(始発10時26分～終発17時30分)

※始発、終発時間は予定です。

## 定額タクシー

名鉄知多半田駅と南吉記念館の区間を定額で利用可能。

期間/9月20日～10月4日

料金/片道1000円

利用方法/名鉄知多半田駅前ロータリーのタクシー乗り場

から名鉄知多タクシー、安全

タクシー、サンレータクシー

にご乗車ください。